

物理化学的性質

塩酸マニジピン

有効成分名	塩酸マニジピン
構造式	
解離定数	$pK_{a_1} : 2.46$ 、 $pK_{a_2} : 6.28$ (参考)
溶解度	<p>pH1.2 : 0.17mg/mL pH4.0 : 1.14×10^{-4}mg/mL pH6.8 : 1×10^{-6}mg/mL 以下 水 : 3.8×10^{-4}mg/mL</p>
安定性	水 pH 9 以下の溶液中では、きわめて安定
	液性 (pH) 酸性～弱アルカリ性溶液中では安定であるが、0.1mol/L 水酸化ナトリウム・メタノール混液 (1 : 1) 中で加水分解される。
	光 塩酸マニジピン (原体) は、いずれの溶液中でも蛍光灯照射下では安定であるが、フェードメーター照射下ではいずれの溶液でも分解し、pH が高いほど分解が進む。 試料溶液は、リボフラビン共存により酸化を受け、室内散乱光 (約500lx) 下で、含量が低下する。(5時間放置時、残存率は78%)
	その他 なし
備考	なし